

経営比較分析表（令和6年度決算）

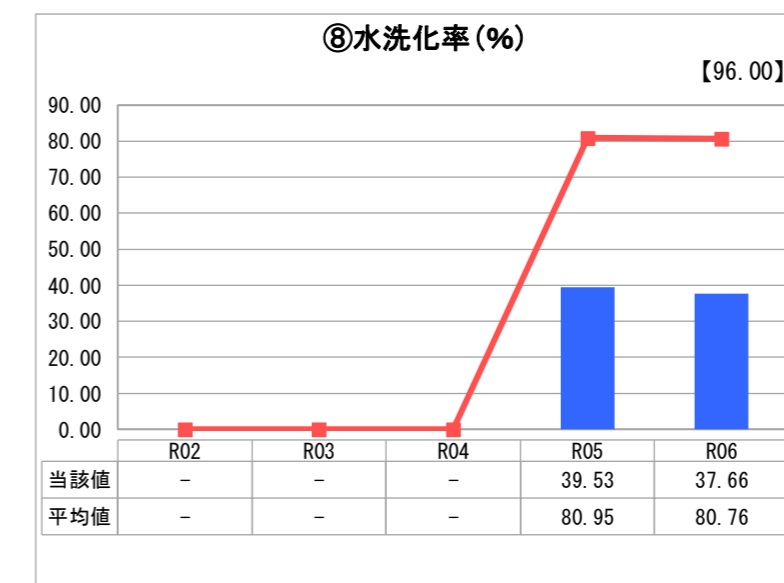
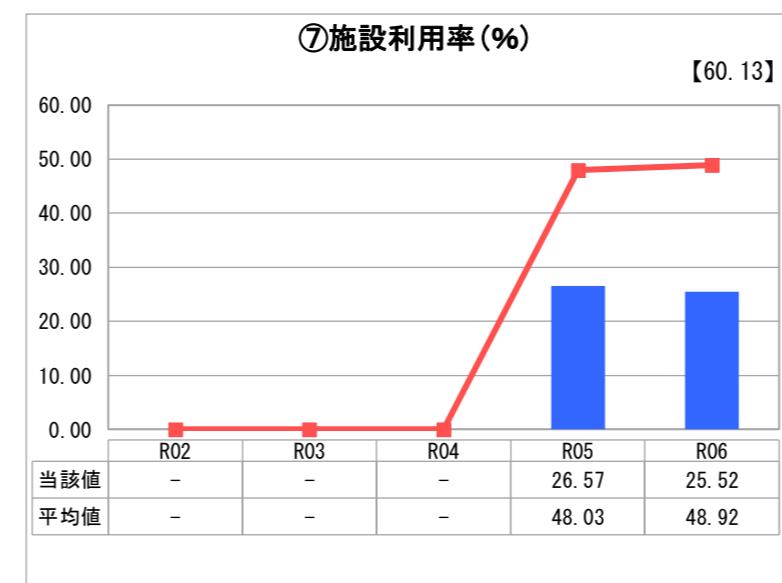
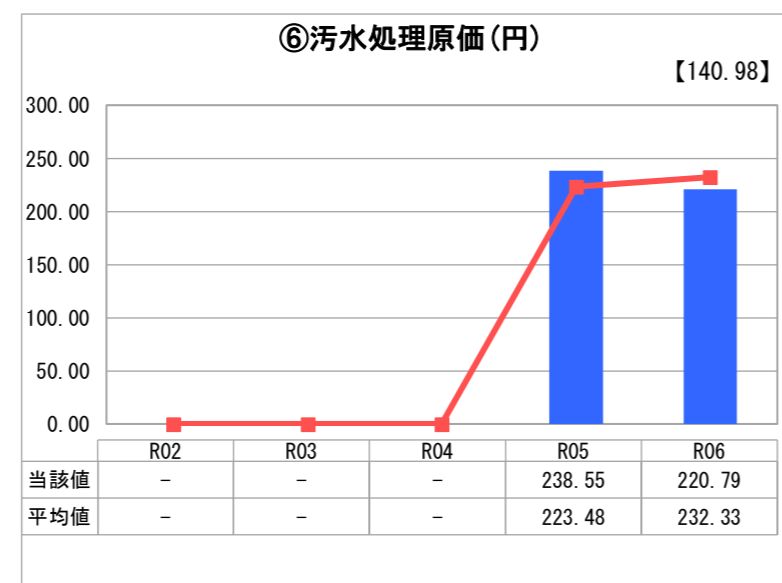
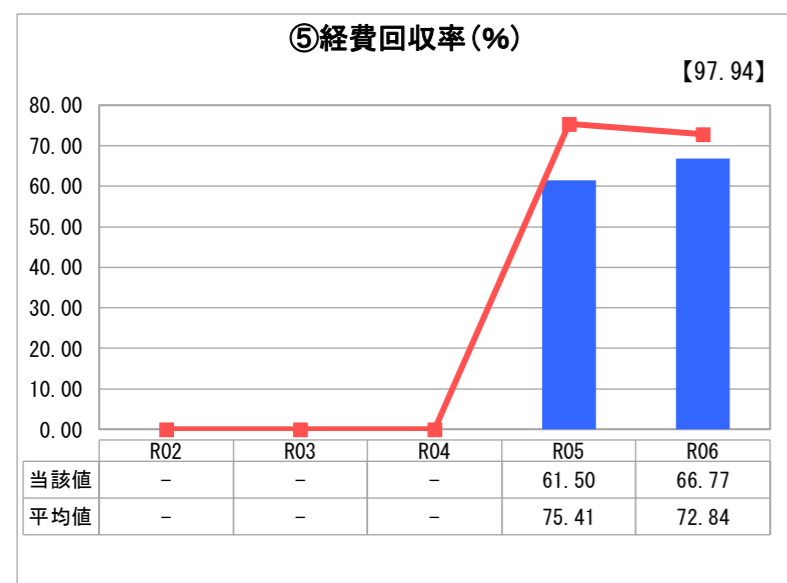
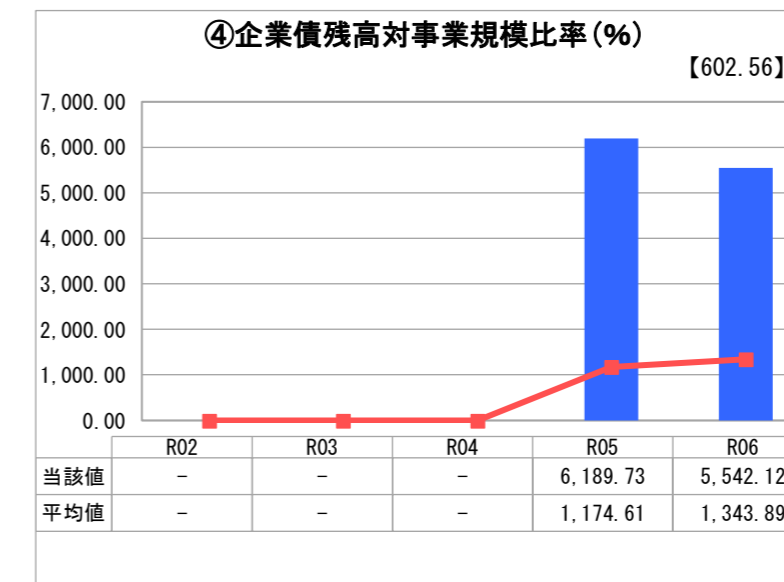
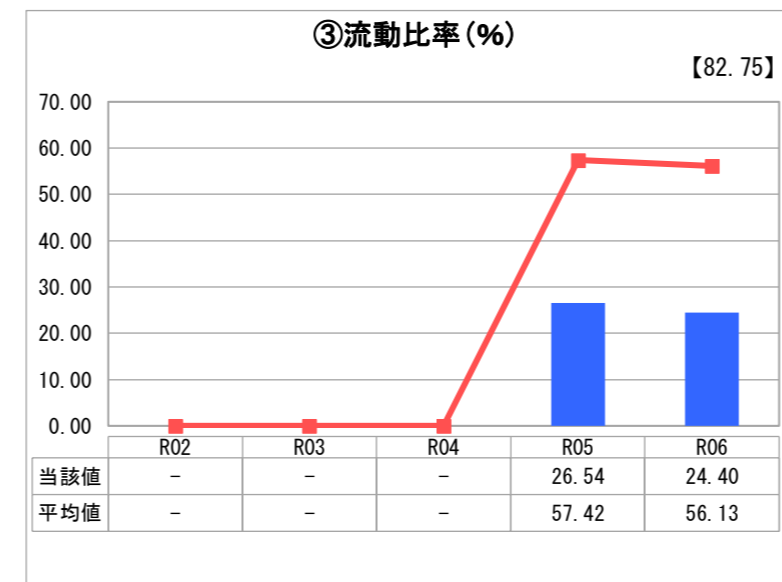
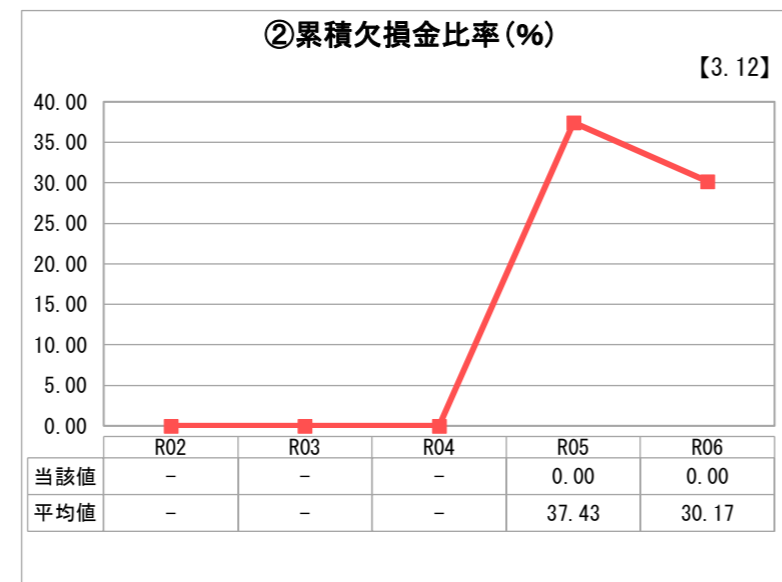
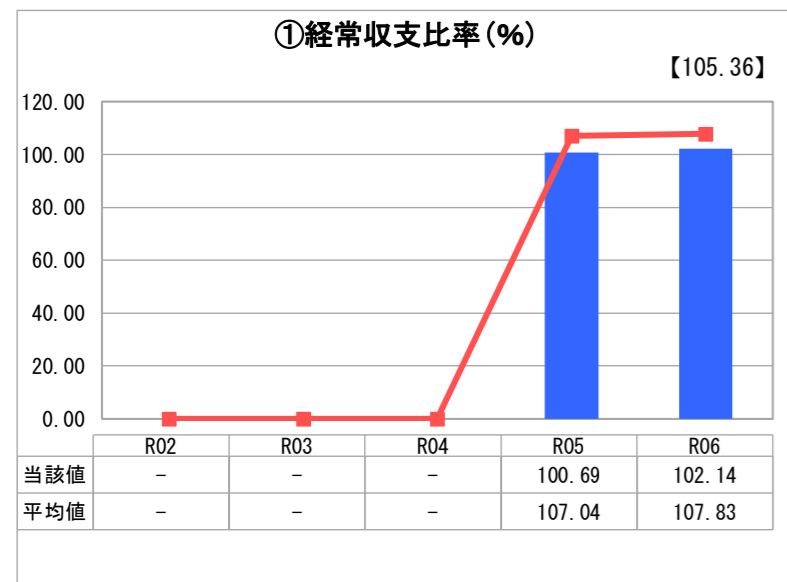
栃木県 那須烏山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	56.00	12.13	90.74	2,805

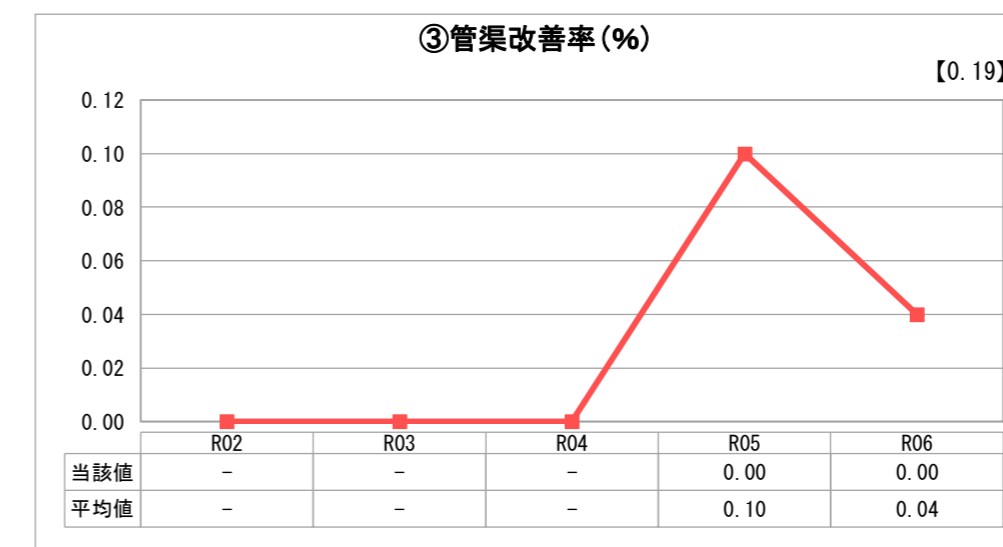
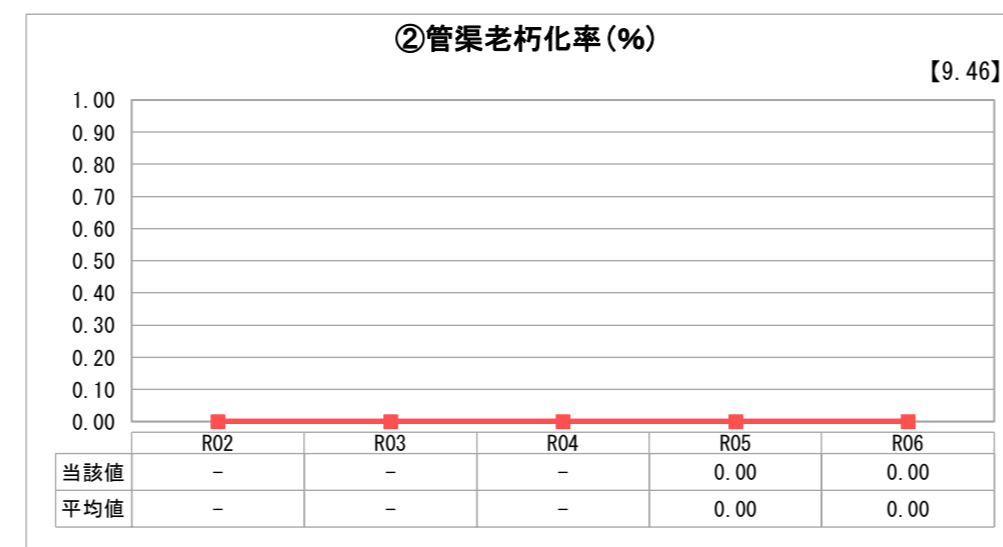
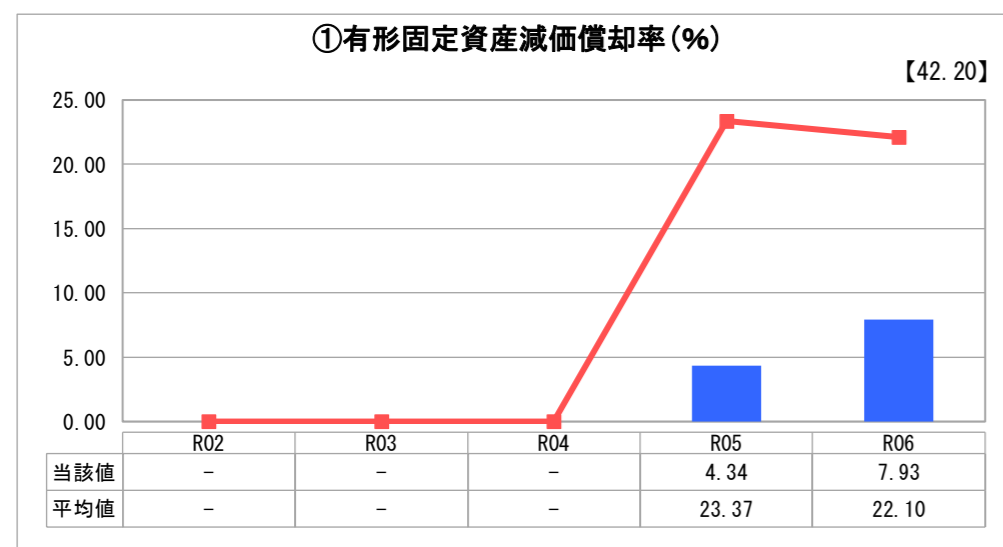
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,482	174.35	134.68
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,828	1.21	2,337.19

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率については、昨年度より5.27ポイント改善されたが、依然として平均値を下回っているため、経費削減等の改善を進める必要がある。
また、供用開始区域内において様々な事情から下水道への接続が進まず、水洗化率については、平均値を大幅に下回っている状況である。このため、下水道使用料収入が少なく、一般会計繰入金に頼らざるを得ない状態である。
水洗化率の向上を図るため、未接続世帯への戸別訪問等を実施している。

2. 老朽化の状況について

老朽化している施設等は少ない状況であり、有形固定資産減価償却率については、平均値を下回っている。
しかしながら、将来的には更新等の高額な工事が予想されるため、令和3年度よりストックマネジメント計画を策定し、長寿命化を進めている。

全体総括

水洗化率向上のための取組を継続的に実施し、更なる経営健全化に向けた対策を検討していく必要がある。将来的に更新等が予想される施設及び管きよについては、長寿命化を進めるとともに、計画的な更新等を進める必要がある。
区域内の人口は減少しているが、使用料収入には顕著な変化は見られない。しかし、将来的な減少が予想されることから、経営の更なる効率化や施設の最適化等の検討を進める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。